

ビジネスプラン説明書（記入のポイント）

ビジネスプラン要約

分野テーマ：

5つのテーマから選んで記載しましょう。

ビジネスプラン名：

どのような事業が明確かつシンプルに表現することが、アピールする最大のポイントです。第8回までに受賞したビジネスプラン名を参考に、印象に残るような名称を考えてみましょう。

ビジネスプラン概要等

◆「誰に」「何を」「どのように」提供することで、顧客や地域社会にどう貢献していくか、次ページ以降の内容を分かりやすく1枚以内にまとめましょう。重要なポイントを網羅するためにも、最後に書くのも1つの方法です。

【例】

（「4. 市場性、採算性、成長性等」に基づく）ターゲット顧客に対して、「3. 事業の特徴および優位性（製品・技術・サービス等）」の提供を通じて、「2. 創業（ビジネスプラン）の動機・目的」を実現します。「10. 事業に関する知識、能力等」を活かして、「9. 事業の実施体制」により、「3. 事業の特徴および優位性（製品・技術・サービス等）」を提供します。「8. 事業実施上の問題点とその解決策」も展開することで、「5. 売上・利益計画」を目指します。なお、大田区内では、「7. 大田区における事業展開」を実施してまいります。

※ビジネスプラン概要は500字以内、フォント12で本紙1枚以内になるよう記載願います。

1. 申請者概要

フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇		申込区分
会社名・商号	株式会社 〇〇〇〇		<input type="checkbox"/> 一般（ <input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人） <input checked="" type="checkbox"/> 学生（ <input type="checkbox"/> 法人 <input checked="" type="checkbox"/> 個人）
フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇		性別
申請者氏名（代表者）	〇〇〇〇 〇〇〇〇		<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	西暦 1985 年 10 月 10 日	年齢	〇〇 歳
職業	会社経営、自営業、会社員、学生など		
住所（事業所の所在地）	〒144-0035 大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号 大田区産業プラザ（PiO）		
フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇		
電話番号	03-0000-0000	携帯電話	080-0000-0000
E-Mail	〇〇〇〇.〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇.ne.jp		
URL	http://www.pio-ota.jp/		
創業（予定）	西暦 2018 年 1 月		
法人設立（予定）	西暦 2018 年 1 月		
資本金（法人）	1,000,000 円		
従業員数	社員（ 1 ）名 パート・アルバイト（ 1 ）名		
現在の事業内容	現在の主な事業内容をお書きください。		
応募担当者氏名	〇〇 〇〇〇〇	連絡先電話番号	080-0000-0000

※創業予定者は、会社名、資本金、従業員数、現在の事業内容の記入は不要です。

2. 創業の動機・目的

このビジネスプランを考えたきっかけや経緯、このビジネスでどのような課題解決や貢献を実現したいのか、またどんな企業になりたいのか、理想の姿を含めて記載しましょう。

3. 事業の特徴および優位性（製品・技術・サービス等）

ビジネスプランについて、今ある他のビジネスとの違いがわかるように製品・技術・サービスの特徴や優位性を中心にわかりやすく説明しましょう。

4. 市場性、採算性、成長性等

(1) 市場の状況（ターゲットとする市場、市場規模、市場動向）

想定している顧客層が属する市場や業界について、統計資料などを参考にしながら、市場の大きさを具体的な数値に出典を挙げて記載しましょう。（成長市場か、成熟市場かなど）

近年の動向についても、市場全体の広い市場環境と、市場全体のうち身近な市場環境の観点で書きましょう。成熟市場であれば、競合が多い中でどのように売上を伸ばしていくかを示しましょう。

(2) 販売ターゲット、販売価格、価格設定方針等

ターゲットとする顧客や顧客ニーズについて、なるべく詳細に記載しましょう。ターゲット顧客に販売する設定価格を具体的に示し、その価格に設定した方針や今後の価格戦略等について、コスト面、需要面、競争面などの観点からも記載しましょう。

(3) 販売方法と販促方法

ビジネスプランに基づいて提供する製品・サービスを顧客が購入・利用する方法、顧客に知ってもらう方法や購入・利用を促す方法などを記載しましょう。

5. 売上・利益計画

(単位：千円)

(会社全体ではなく、本ビジネスプランに関する売上・利益計画で十分です)

事業名・商品名	第1期 (平成29年12月期)	第2期 (平成30年12月期)	第3期 (平成31年12月期)
売上高	1,000	1,500	2,000
売上原価	500	700	1,000
売上総利益	500	800	1,000
販売費・一般管理費	300	500	600
営業利益	200	300	400
営業外費用	100	100	100
営業外収益	100	100	100
経常利益	200	300	400

※営業外費用や営業外収益の算定が難しい場合は、「ゼロ」でも結構です。また、各数値は大よそで結構です。

6. 事業の進捗状況及び実行計画

現在、ビジネスプランはどこまで進んでいるかを示しつつ、ビジネスプラン全体または今後のスケジュールを記載しましょう。

7. 大田区における事業展開

ビジネスプランの中で、大田区ではどのように事業を展開するのかを具体的に記載しましょう。

8. 事業実施上の問題点とその解決策 (大田区及び協会へ求める支援策を含む)

